

GREEN Rader

全農長野県本部情報 グリーンレーダー

2026

3

Vol.562



令和8年度事業計画

重点事業方針

A-**P**olicy

生産購買部 **農業機械課の取り組み**

A-**R**eports

- ・第55回 信州フラワーショーウィンターセレクション開催 6
- ・JAタウン出店者会議&JAタウンアワード部門
3年連続受賞祝賀会を開催 7
- ・「第3回ちくさんらくのう女性の集い」を開催 8
- ・スマホで楽しむ食育体験!長野米おにぎりも大好評 8
- ・長野米消費拡大キャンペーン「はま寿司で長野米キャンペーン」開催中 9
- ・長野県産新米キャンペーンを実施 9

- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・3月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

令和8年度事業計画

J A全農長野基本理念

会員J Aとの一体的な事業運営により、生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、J A組合員の営農と生活の向上に貢献します。

【事業運営の基本目標】

1. 持続可能な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持・拡大
2. 販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化
3. J A経済事業の収支改善と活気ある地域社会づくり

【経営管理の基本】

県本部総合経営管理体制の堅持による県域機能の発揮

基本方針

1. 世界的な食料需要の増加や地政学的リスクの高まりにより食料安全保障がクローズアップされるなか、国際情勢の不安定化による原料やエネルギー価格の高止まり、気象災害の頻発と激甚化、運送業界における時間外労働の上限規制に伴う運送費の高騰など、農業をとりまく環境は一層厳しさを増しています。特に生産資材価格の高騰は生産コストを上昇させ、農家・生産者の経営に深刻な影響を与えています。

2. 令和7（2025）年度に取りまとめられた「地域計画」によると、長野県の農地の34・7％で10年後の耕作者が未定とされています。国は担い手への農地の集約化を加速する方針ですが、生産基盤の維持に向けた生産者への支援に加え、農作業の省力化や効率化

への取り組みをより一層すすめていくことが重要です。また、同年6月には食料システム法が制定され、合理的な費用を考慮した価格形成の実現への指針が示されました。令和8年4月からの全面施行を踏まえ、コスト指標の把握や合理的な費用を考慮した取引の実施への対応が求められています。

3. 長野県における農業産出額は、近年の果実等の単価高を背景に令和5年度2, 890億円と、前年度より182億円（6・7％）増加しましたが、長野県J Aの農畜産物取扱高は令和5年度1, 927億円と、前年より97億円（5・3％）の増に留まっています。J Aの組合員数は、令和2年の317, 650人から令和6年には310, 575人となり、長野県の人口や農業経営体数と同様に減少しています。一方で、令和6年の准組合員数は

157, 783人と組合員数の半数を上回り、J Aの組織基盤の構造変化が進んでいます。こうした変化と組合員ニーズへの対応を急ぎ、地域の活性化とJ A経済事業の進展をはかる必要があります。

4. このような環境のもと、長野県本部は基本理念に基づき、不断の自己改革に取り組みとともに、J A・県域および子会社の機能を最大限に発揮しつつ連携を深め、部門別事業競争力の強化とJ A経済事業の収支改善により経営基盤の確立をはかります。

また、県本部総合経営管理体制を堅持し、県域結集の拡大をすすめるとともに、その成果をJ A・組合員へ還元していきます。

経営計画

総供給販売高計画

【単位：百万円、％】

部 門	令和8年度計画	令和7年度計画	対比 (R8/R7)
生産振興部	283	268	106
生産販売部	170,117	164,232	104
生産購買部	34,800	33,200	105
畜産酪農部	32,900	32,900	100
くらし支援部	41,900	39,400	106
総 合 計	280,000	270,000	104

税引後当期利益 1億2千万円（税引前2億円）

事業方針

1. 農業振興事業

- (1) 生産基盤維持に向けて、生産振興・生産販売・生産購買部門が連携し、マーケットニーズや地域実態、担い手ニーズに応じた生産振興をはかります。また、JA営農指導の支援を強化し、生産性向上に向けた栽培技術の提案と普及に取り組みます。
- (2) 機械化や省力栽培技術を活用して作業効率化をはかり、生産基盤の維持拡大をすすめるとともに、作業の省力化や反収向上に向けた農業DXを推進します。
- (3) 気候変動による高温や激甚化する災害への生産安定化対策として、排水対策技術や施設化を提案するとともに、優良品種や資材を活用した栽培技術の検討をすすめます。
- (4) 生産基盤の維持に向けた、野菜・花き優良苗の安定供給およびりんごフェザー苗の供給体制の強化に取り組みます。
- (5) みどりの食料システム戦略を

2. 生産販売事業

- (1) 生産者手取りの最大化を実現するため、需要動向の変化を捉え、卸売会社との連携を強化し、実需者営業を拡充します。また、輸出先国の開拓や既存取引の拡充による輸出事業、加工・業務対応の強化に取り組みます。あわせて、消費拡大対策として食育・花育活動を通して需要を創出し、「国消国産」運動を展開します。
- (2) 米穀および青果物・花きの輸送について「物資の流通の効率化に関する法律」および関係法令を遵守した持続可能な体制の構築をすすめる、輸送トータルコストの抑制に向けた荷待ち時間の短縮、配送の集約化、パレット輸送の拡大、出荷規格・資材の見直しに取り組みます。
- (3) 需要動向を起点とした生産対策や、系統未利用・低利用生産者への生産販売提案を通して、JAとの連携を強化して系統利用の拡大をはかります。特に、花き生産基盤の維持・拡大に向けた指導・事業体制の構築をすすめます。
- (4) DXについては、米穀および青果物にかかる流通業務の事務効率化をJAと連携してすすめます。あわせて、実需者営業の強化や物流の効率化に向け、データの利活用を可能とする体制の構築に取り組みます。
- (5) 高温耐性品種を含む長野米について、需要に基づく生産を推進するとともに、JAと連携した卸売業者や実需者への直接営業を強化することにより、長野米の有利販売を実現し、長期的かつ安定した生産者所得の増大をはかります。

3. 生産購買事業

- (1) 農業資材事業は、段ボール・フィルム等の安定供給と品質維持を前提に適正包装をすすめ、コスト低減をはかるとともに、機能性の高い包装資材を導入し商品競争力を強化します。また「運送業界における時間外労働の上限規制」への対応として、パレット輸送に適合した包装資材の開発をすすめます。農業資材では、マルチの需要結集による価格抑制対策と、薄膜マルチの普及拡大によるコスト低減をすすめます。
- (2) 店舗事業は、経営検討会の実施による改善提案、相談機能發揮に向けた店舗別研修の拡充に取り組めます。また、JAが取り組む、JAファーム店をはじめとした生産資材店舗の再編の検討に向けた体制づくりを支援します。
- (3) 肥料農薬事業は、BB肥料の原料・成分見直しによる低コスト銘柄の開発、農薬の需要結集を通じた価格抑制対策を実施し
- コスト低減をすすめます。また、担い手需要に應える「わたしの肥料」、「軽量肥料Lightシリーズ」、「農薬大型規格」などの省力・高機能資材や先進技術の提案・推進と「みどりの食料システム戦略」に対応した資材の普及拡大をすすめます。
- (4) 農業機械事業は、スマート農業機械の普及をすすめるとともに、県域推奨型式・共同購入コンバインの重点購買、中古農機の確保・流通拡大を通じ、コスト低減をはかります。また、県域農業機械整備センターによる整備受入の拡大とJA整備士の育成により、JA農業機械整備事業を強化します。
- (5) 施設住宅事業は、施工代行を基本とした一級建築士事務所による専門性を發揮し、高度化する農業施設への技術提案機能を強化するとともに、JAの事業拠点再編・整備構想に則した新築・改修提案に取り組めます。また、LED照明などの省エネ・再エネ機器の導入提案や、

多様な組合員ニーズに対応した建物保全管理の支援による住環境改善に取り組めます。

4. 畜産酪農事業

- (1) 空舎活用等による畜産生産基盤の維持・確保に取り組むとともに、生産者の規模拡大に向けて、JAグループ各社との情報共有、連携により、支援をすすめます。また、系統結集をさらに高め、販売頭数を確保します。
- (2) 信州産畜産物のブランド認知度向上と品質の訴求による販売力強化、取引先との連携による信州プレミアム牛肉の輸出拡大、PR活動を通じた信州産生乳の消費拡大に取り組む、生産者の所得を確保します。
- (3) 長野県中央家畜市場におけるライブ配信を活用したセリ状況の発信によって購買客の誘致をすすめ、県内優良子牛の有利販売をはかり、生産者の所得確保と年間上場頭数を維持します。
- (4) 県本部生産農場は、機能の十分な發揮と経営収支の安定に努

めます。三岳牧場は、プロジェクトに基づく新たな事業体制を構築するとともに、今後の在り方を検討します。

5. ぐらし支援事業

- (5) 令和9年度末を目途とする松本食肉施設の閉鎖に伴う対応を県・市町村とすすめるとともに、販社との連携を強化し、県産食肉の流通体制を堅持します。
- (6) 中信地区における営農指導体制は、中央会や構成JAと協議し、適切な方向性を定め、整備に取り組めます。
- (1) 石油事業は、系統結集による数量を背景とした仕入強化と、SSマスタープラン策定および体制整備に取り組めます。また、WEB化の対応をすすめ、SSおよび配達顧客の固定化と新規獲得によりシェアの確保をはかります。LPガス事業は、年次別マスタープランの実践と供給戸数確保・JAでんき供給拡大に向けたホームエネルギー取扱体制の構築により事業強化

に取り組むとともに、新たな小売事業方式を検討・決定していきます。

(2) SS協同経営事業は、JA事業との連携を強化したJAらしいSSづくりと、SSアプリ・エネキーやLINEを活用し、顧客の固定化をはかります。また、ライフラインSS協同経営方式の展開により地域インフラの維持をすすめます。

(3) 自動車事業は、営農車を中心に系統結集を強化して取扱台数の確保をはかります。また、先進技術・ニーズに対応した電動車等の取扱体制整備をすすめます。

(4) Eコマース事業「JAタウン」は、信州産農畜産物・加工品の出品を拡充し、取扱高の拡大に取り組みます。また、組織購買事業は、変化する組合員・消費者ニーズに応じ、草刈り・害獣防除をはじめとした新規事業の構築をすすめます。

(5) セレモニー事業は、多様なニーズに対応した葬儀サービ

ス・商品提供を強化し、葬儀件数とシェア確保につながる虹のホールグループ活動に取り組みます。

6. 経営管理

(1) 県域結集および事業競争力の強化と、県本部総合経営管理体制の堅持により、JAおよび組合員にメリットを還元します。

(2) 事業環境の変化を考慮し、県本部機能に見合う部門別収支を検証し見直すとともに、事業管理費を精査し管理コストの削減に努め、経営の安定化をはかります。

(3) みんなの点検（二斉事業点検）や業務点検を通じてコンプライアンス態勢を強化し、法令違反、労務管理、労働災害、ハラスメント、個人情報などの重点管理すべきリスクの未然防止に努めます。

(4) 業務体制の効率化をはかるとともに、職員の能力開発・人材育成をすすめます。また、JAおよび子会社との連携を深め、

県本部としての機能を最大限發揮する多様な雇用形態による要員体制を確立します。あわせて、人事制度の見直しを行い、働き方の多様化に対応した働きやすい職場の実現に取り組みます。

(5) JA長野県グループおよび行政機関等と連携し、地域に貢献する組織広報活動をすすめます。また、県内プロスポーツ選手等を活用したPR活動の展開を通じて、世代を超えた幅広い層に向けて信州産農畜産物の魅力を発信し、認知度向上・共感の醸成と消費拡大につなげます。

(6) 子会社は、内部統制システムの運用およびコンプライアンス態勢の強化により健全な経営管理を行い、JA経済事業の補完機能の強化に取り組みます。

(7) 「JA全農長野次期中期3カ年DXビジョン」に基づき、組合員ならびにJAの利便性・収益性向上、営農・経済事業の拡大、業務効率化に取り組みます。

(8) 第73回JA長野県大会の決議

に基づき、持続可能な長野県農業を実現するため、JA域を超えた事業・機能連携、および新たなJA長野県グループの事業・運営のあり方の研究・検討に参画します。

(9) 金利上昇による全農（全国本部）への財務損益利払いの増加が県本部の経営リスクとなつていきます。この全農統合によるデメリットの解消に向け、事業運営協議会の場で全国本部と協議します。

農業機械課

生産購買部

農業機械課の取り組み

1. 「JA農機&資材フェスタ」代替推進策の実施

令和7年度は、例年開催している「JA農機&資材フェスタ」について、会場であるエムウェーブが改修工事のため利用できないことから、開催を見送ることとなりました。これに代わる取り組みとして、次の推進企画を実施しました。

(1) JA農業機械ご成約ブレゼントキャンペーン

6月から8月の期間中、JAを通じて1台あたり150万円以上の農業機械をご成約いただいた方を対象に、信州産精肉（牛肉・豚肉）や家電製品などを景品とした成約キャンペーンを実施しました。応募総数は235件、対象成約金額は10億9,000万円にのぼり、上半期の統一企画として大きな成果を収めることができました。

(2) 地区別の展示会・実演会の開催

各地区では、新規イベントを企画・実施しました。地域のニーズを踏まえた企画内容は、作物体系に即した農業機械の提



ほくしん農機フェア



中信地区スマート農機展示実演会

案につながり、来場者から高い評価を得ました。

2. 共同購入第3弾（コンバイン）の推進活動

第3弾となる共同購入コンバイン（4条刈・50馬力クラス）については、同クラスの現行機種と比較して、生産者の購入価格をおおむね15〜18%程度引き下げることが実現しました。これは生産者から高く評価され、計画を上回る受注実績につながっています。

共同購入の取り組みが、需要の喚起と営農支援の双方に寄与する結果となっています。

3. 重点購買による県域推奨型式の機種拡大

平成28年度より取り組みを進めている「県域推奨型式」については、県下JAの中堅職員による選定会を開催し、県内の需要動向や流通実態に即した型式を選定しています。これまでに計12型式を選定し、県本部による一括仕入れにより購買メリットを創出してきました。その結果、本取り組みは開始以来、順調な販売実績を維持しています。今年度は新たにフロントカルチ式の管理機（クボタ・FTR70）が推奨型式として選定されました。

4. 令和7年度JA長野県農業機械推進優秀者表彰式の開催

農業機械推進優秀者表彰は、事業計画の達成に向けた提案活動の強化と、JA農機担当者のモチベーション向上を目的として実施しています。今年度は、組合員への積極的な推進活動が評価された上位30名の農機担当者が優秀賞を受賞しました（※表紙右上）。

表彰式では、受賞者代表より「一人でも多くの『困った』を解決し、地域農業を支えていきたい」との決

意が述べられ、組合員の機械利用を支えるJA農機担当者の意識統一が図られました。

5. 農業機械担当者整備研修の実施

農業機械の価格上昇に伴いメンテナンス需要が増加する中、JA農機担当者の技術力向上が課題となっています。全農長野整備センターで実施している「個別研修会」では、部品出しから修理、完成検査に至るまで、マンツーマンで指導し、実践的な技術習得を支援しています。また、「整備技術研修会」では、機種ごとに特化した整備研修を実施するなど、スキル向上に向けた各種研修会を開催しています。これらの研修を通じて、専門性の高い農業機械技術者の育成と、現場対応力の強化を進めてまいります。



整備センターでの整備研修（マンツーマン方式）

果実花き課

信州の冬を彩る花々

第55回 信州フラワーショー ウィンターセレクション開催



開花状態や色合いなどを審査



アレンジメント作りに挑戦する児童

信州フラワーショー運営委員会は1月29日(木)・30日(金)の2日間、伊那市のJ A南信会館にて「第55回 信州フラワーショー ウィンターセレクション」を開催しました。

今年はアルストロメリア、アネモネ、ダリア、花木など、昨年を上回る368点の出品があり、会場は色鮮やかな冬の花々で華やぎました。

■品評会では「ミストラル」が最高賞に輝く

審査会では、野菜花き試験場や市場関係者など計13名の審査員が、開花状態・色合い・花形のバランス・商品性を基準に各作品を丁寧に評価しました。その結果、農林水産大臣賞には、J A上伊那・有賀美和さんのアルストロメリア「ミストラル」が選ばれました(=表紙左)。その他、計37品が入賞し、改めて長野県産花きの高い品質が示されました。

■大盛況の一般公開と即売会

今年はラジオなどでの事前告知を強化したこともあり、一般公開前から長い行列ができる盛況ぶりでした。花束やアレンジメント、出品物の予約販売はどれも好評で、準備した品はすべて完売。「毎年楽し

みに来ています」という声も多く、県産花きの認知度と信頼が高まっていることを実感しました(=表紙右下)。

■小学生の花育体験・高校生の学びの場としても

期間中、伊那東小学校3年生の3クラスが来場し、会場見学とアレンジメント体験を実施。講師を務めたのは県内の若手生産者で、子どもたちは好きな色のアルストロメリアを選びながら、楽しそうに作品づくりに取り組んでいました。また、上伊那農業高校の花き専攻の生徒20名も訪れ、生産者から品目ごとの特徴や栽培状況を熱心に聞き、気になる花を撮影するなど意欲的に学ぶ姿が見られました。

■次回開催のお知らせ

今回はサマーセレクションを、9月3日(木)・4日(金)／J A長野県ビルアクティーホールにて開催する予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

第55回 信州フラワーショー ウィンターセレクション 入賞者名簿

(敬称略)

褒 賞 名	点 数	品 目 名	品 種 名	氏 名	J A 名
農林水産大臣賞	1点	アルストロメリア	ミストラル	有賀 美和	上 伊 那
農林水産省農産局長賞	1点	アルストロメリア	ピノット	吉澤 栄二	上 伊 那
農林水産省関東農政局長賞	1点	ダリア	ミツチャン	木下 真太郎	みなみ信州
全国農業協同組合連合会長賞	2点	アルストロメリア	ピンクティアラ	酒井 弘道	上 伊 那
		アルストロメリア	ルーージュ	赤羽 隆芳	上 伊 那
長野県知事賞	4点	アルストロメリア	トンプス	中原 睦男	上 伊 那
		アルストロメリア	マッサ	有限会社 末広農園	上 伊 那
		アネモネ	モナリザ	伊藤 孝一	信州諏訪
		アルストロメリア	プライズメイド	小池 潤	信州諏訪
日本花き卸売市場協会会長賞	2点	アルストロメリア	ゴールド	松澤 広	上 伊 那
		花木	日本レンギョウ	柴田 正行	佐久浅間
フラワー産業議員連盟会長賞	1点	アルストロメリア	ミルクティ	山田 秀一	松本ハイランド
長野県農業協同組合中央会長賞	6点	アルストロメリア	ペルーガ	農事組合法人 らいふ	上 伊 那
		ダリア	オレンジストーン	唐沢 弘之	みなみ信州
		アルストロメリア	ピンクティアラ	有限会社 信州グリーンサポート	上 伊 那
		アルストロメリア	ホットペッパー	株式会社 カルチバフローレス	上 伊 那
		アルストロメリア	セレブレーション	丸田 修央	上 伊 那
		アルストロメリア	マッサ	西尾 裕幸	上 伊 那
全国農業協同組合連合会長野県本部賞	6点	アルストロメリア	ピンクティアラ	篠原 俊	信州諏訪
		スタンダードカーネーション	ブリザ	阿部 和博	佐久浅間
		アルストロメリア	ワンダースイート	松本 裕	信州諏訪
		アルストロメリア	パーティー	小澤 智行	上 伊 那
		アルストロメリア	ミストラル	小笠原 秀樹	上 伊 那
		アルストロメリア	アニー	柳澤 源悟	信州諏訪
伊那市長賞	2点	アルストロメリア	ホットペッパー	久保田 卓二	上 伊 那
		アルストロメリア	ピンクティアラ	古畑 雅一	上 伊 那
フラワーショー運営委員長賞	11点	アルストロメリア	レモンソーワ	矢野 源彦	上 伊 那
		ランキンキュラス	ポンポンマルヴァ	株式会社 カルチバフローレス	上 伊 那
		アルストロメリア	ジェイド	半田 航志	信州諏訪
		アネモネ	ミストラルプラス	伊藤 佐九次	信州諏訪
		アルストロメリア	パープレックス	星野 仁志	信州諏訪
		ダリア	黒蝶	大平 篤史	みなみ信州
		アルストロメリア	ピンクティアラ	清水 孝徳	上 伊 那
		アルストロメリア	ゴールド	伊藤 哲	上 伊 那
		アルストロメリア	パメラ	三浦 雄一	信州諏訪
		アルストロメリア	ゼンブラ	金子 由飛	信州諏訪
		アルストロメリア	ピンクティアラ	小林 克実	信州諏訪

(くらし支援課)

JAタウン出店者会議&JAタウンアワード部門 3年連続受賞祝賀会を開催

「全農長野 僕らはおいしい応援団」ショップアワード部門3連覇を報告

JA全農長野くらし支援課は2月12日(休)、長野市内でJAタウンの出店者会議を開催し、出店者や関係者42人が出席しました。

本年度は、例年開催している出店者会議に加え「全農長野 僕らはおいしい応援団」のショップアワード部門3連覇の達成を受け、祝賀会を開催しました。ショップアワード部門は、受注金額だけでなく、伸長率や新商品掲載数、イベント商品提案数、ショップメルマガの発行回数など、多岐にわたる指標を総合的に評価され順位付けされます。

祝賀会の挨拶で、全農長野の高木昭彦副本部長が「出店各位の日頃の努力の結果です。今後とも多様な農畜産物をお届けできるよう、引き続きご協力をお願いしたい」と感謝の意を述べました。

全国本部フードマーケット事業部の太田純部長からは「この受賞に関しては、一つ一つ丁寧に改善に努めてきた結果の結集であり出品者の皆さんと創意工夫をしてきたものが大きな力となりました。JAタウンは単なるECサイトではなく生産者や産地の想いを届けています。今後も情報発信を行いプラットフォームのロールモデルとなるよう売りやすく伝えやすいショップを目指していただきたい」とお祝いメッセージが送られました。

また、出店者側の代表としてグリーン長野営業販売部の内村賢営業課長からは、JAタウン事務局への日頃の感謝とともに、「今後も切磋琢磨し出品していきたい」と述べられました。さらに同タウンオフィシャルサポーター秋元真夏さんによるお祝いメッセージ動画を視聴しました。

JAタウンには全国から113ショップが出店しており、「僕らはおいしい応援団」ショップには85店舗（JA20店舗 生産者34店舗 企業31店舗）が加入しています。当ショップの強みは、多くの生産物や加工品を有することです。

前段の出店者会議では、くらし支援課の担当者から出店者に向け、売上向上のポイント説明があり「利用者は実物を手に取ることができないため、写真で魅力を伝えることが重要」と話し、商品写真や説明文の充実に加え、「写真を入れ替えただけで前年比2倍以上となった」と事例を紹介しました。また、「レビュー数が多く、評価が高い商品は購入されやすい傾向があり、新規出品の商品は少量でも構わないので出品し、レビュー数を増やすこと、普段以上に品質に気を配ることが大切」と強調しました。

くらし支援課では出店促進を強化し、各種キャンペーンへの参画、ショップメルマガ配信の充実を図り「商品を育てる」ことを重点に置き、店舗運営をサポートすることにより売上向上に取り組んでまいります。引き続き、皆様からの積極的な商品提供のご協力をお願いいたします。



高木副本部長あいさつ



オフィシャルサポーター秋元真夏さんからのお祝いメッセージ動画

畜産酪農課

「第3回ちくさんらくのう女性の集い」を開催

J A全農長野と関係団体は1月29日(木)・30日(金)の2日間、大町市平の大町温泉郷で「第3回ちくさんらくのう女性の集い」を開催しました。日頃、飼養管理などでゆっくりと出掛けられない皆さんが一年に一度、畜種を超えて集まり、これからの長野県畜産酪農事業にかかわる情報交換を行い、連帯感を高めると同時にリフレッシュしていただくことを目的としたもので、県内の畜産酪農の女性従事者約30名にご参加いただきました。

研修会では2名の講師による講演を行いました。全農長野畜産酪農課の西澤奈歩担当からは「第16回全日本ホルスタイン共進会について」の報告があり、信州DMH研究所の桜井恒利主宰より「健康寿命の更なる延伸について」の講習会が行われました。

また、参加された皆さんで、思い出を一緒に作る時間として、フラワーアレンジメント体験も実施しました。それぞれが思い思いのアレンジで世界に一つだけの花束を仕上げ、周囲の方々と笑顔で交流しながら取り組む姿が印象的でした。



桜井主宰による「タオルメソッド」を実践する参加者

全体をとおして「来年の開催も楽しみにしている」「畜種関係なくもっと参加者を増やしたい」など、次回へ向けた前向きな声を多数いただきました。

一年に一度のこの集いが参加者の皆さんにとって有意義な時間となり、心身をリフレッシュできる場となるよう、今後も企画を充実させてまいります。

販売流通企画課

スマホで楽しむ食育体験！長野米おにぎりも大好評

J A全農長野販売流通企画課は1月31日(土)、地元テレビ局主催のイベントで食育活動を実施しました。当日は好天に恵まれイベント全体の来場者は4,000人を超え、子育てエリアに出展した全農長野ブースは親子・ご家族連れを中心に立ち寄りいただきました。

お子様には、お持ちのスマホでQRコードを読み込んで農産物生産につながるゲームとクイズに挑戦していただき、長野米塩おにぎり150個や全農監修うんこドリル「食べ物のつながり」と食器用スポンジ200セットをプレゼントしました。「おもしろかった」「家でもやってみたい」などの声をいただき、300名以上のお子様にアプローチすることができました。

同時に実施した保護者の皆様へのアンケートでは、長野県産農産物への意識や購買意欲を高める質問をしたところ、体験後の長野県産農産物への印象(複数回答)では、「安全・安心そう」80.8%、「おいしそう」(37.2%)、「子どもに身近」(29.5%)という回答が多く、今後の購買意向では「(長野県産・国産を)選びたいと思う」が94.9%と子育て世代の食への関心の高さがうかがわれました。

生産販売部では、食育を通じて長野県産農産物の魅力を継続的に発信し、購入機会および認知度向上につなげてまいります。



保護者のスマホでゲームに挑戦



「うんこドリル」の冊子と食器用スポンジをプレゼント

「うんこドリル」
ゲームはこちら



「きのご博士クイズ」
はこちら



米穀課

長野米消費拡大キャンペーン

「はま寿司で長野米キャンペーン」開催中
長野県内の「はま寿司」全店で、素敵な賞品が当たる！

長野県内の「はま寿司」全9店舗では、マイパール長野の「長野米」が使用されています。「はま寿司」では、安全・安心で美味しい地元のお米「長野米」を、もっとたくさんの皆様に食べていただこうと、素敵な賞品が当たるキャンペーンを店頭で実施しています。

応募方法は、はま寿司店内の各テーブルにあるQRコードからキャンペーン特設サイトへアクセスし、必要事項を入力して、応募ボタンをタップ！

抽選で「はま寿司厳選醤油7本セットとお食事ご優待券3,000円分」が50名様に、「長野県産コシヒカリ5kg」が100名様に当たります。

長野米のより一層の消費拡大のため、「はま寿司」の店頭に足を運んでいただき、キャンペーンへのご参加をお願いします。応募期間は3月31日まで。詳しくはキャンペーン特設サイトまで。



詳しくは
こちら



米穀課

長野県産新米キャンペーンを実施
～全国から20,230件の応募をいただきました～

J A全農長野米穀課は、令和7年産の新米が出回る10月から12月に「長野県産新米キャンペーン」を行い、全国から過去最多となる20,230件の応募をいただきました。



食糧専門委員会による抽選

キャンペーンは、対象商品の米袋に貼ってあるキャンペーンシールのシリアルナンバーを2つセットで応募すると、抽選で150名様に8,800円分のお米券をプレゼントするという内容でした。

抽選は2月9日(月)の食糧専門委員会で行い、当選者が決定しました。当選者へのプレゼントの発送は令和8年3月頃を予定しています。

米穀課では、長野米の消費拡大をより一層進めてまいります。

JA全農長野の事業現況

令和8年度1月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	2
野菜種苗センター		165	110	120
生産振興部計		165	110	117
米	穀	19,074	108	109
果実花き		49,808	95	94
野菜きのこ		67,779	95	95
営	業	13,583	92	97
生産販売部計		150,244	96	97
農業資材		9,947	96	101
肥料農薬		6,557	109	103
農業機械		5,786	113	111
施設住宅		3,277	167	76
生産購買部計		25,567	109	99
畜産酪農		27,019	102	100
三岳牧場		206	73	86
S P F繁殖センター		227	85	101
八ヶ岳牧場		246	94	94
畜産酪農部計		27,697	102	100
燃料・ホームエネルギー		21,554	106	95
S S協同経営		6,338	113	96
くらし支援		6,201	98	94
くらし支援部計		34,093	106	95
長野県本部計		237,766	99	97

(内部販売高含む)

3月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
3/25(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	新茶

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンレーダー
WEB版はこちら

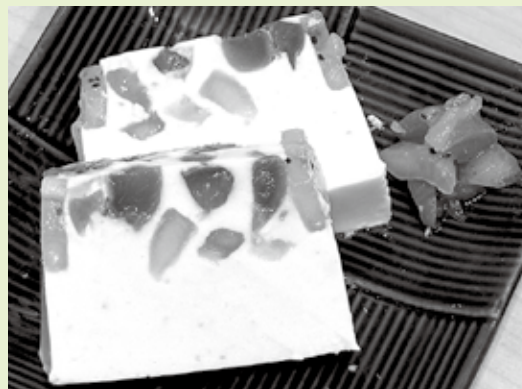


今月のおすすめレシピ

第43回牛乳乳製品利用料理コンクール 優良賞レシピ

信州ミルク寒天

レシピ考案：仲二見 美鈴さん



【材料(4人分)】

牛乳……………200cc
生クリーム……………200cc
キウイフルーツ
(ゴールド)……………1個
杏のシロップ漬け
杏の実……………4個
杏のシロップ漬け
シロップ …… 大さじ5

粉寒天…………… 4g
水……………100cc
砂糖……………大さじ1
味噌……………小さじ1/2

■道具：パウンドケー
キ型・テリーヌ型(ス
テンレス製)または牛
乳パックでも代用可

【作り方】

- 1 耐熱容器に牛乳と生クリームを入れ、600Wの電子レンジで3分加熱する。
- 2 1で加熱している間に、キウイフルーツと杏を1cm角に切り、型に入れる。
- 3 鍋に水と粉寒天をいれ、沸騰するまで加熱し、粉寒天をよく溶かす。
- 4 3に砂糖を加えて溶けるまで混ぜ、シロップと味噌を入れ混ぜる。
- 5 4に温めた1を入れてよく混ぜ、沸騰寸前まで加熱する。
- 6 5を型に静かに流し入れ、型を氷水につけて固める。
- 7 6を冷蔵庫で冷やしたら出来上がり。



ポイント
アレンジ

・名産品の信州味噌をくわえることで、まろやかな味わいになりました。
・旬のフルーツを入れるなどのアレンジをしても楽しめます。

編集後記

暦の上では立春を迎え、春の訪れが感じられるようになりました。しかし東北地方ではいまだ降雪による被害が続いていると聞き、被害が最小限で済むこと、そして復旧作業にあたる方々の安全を願うばかりです。

私の住む地域にもようやく春らしい気配が訪れ、畑の雪がすっかり消えました。そこでJA資材店舗に向かい、玉ねぎ専用の肥料を購入して追肥を行いました。今年は雪が少なかったため、霜で土が持ち上がり、苗が浮いて根がむき出しになったものが多く見られました。植え付け時にしっかりと踏み固めておかなかつたこと、あるいは土中の水分が多すぎたことが原因ではないかと推測しています。結局、一割ほどの苗が枯れてしまい、作業をしながら反省するばかりです。

とはいえ季節は前へ進み、春植えの準備に取りかかる時期になりました。土を丁寧に耕し、苦土石灰を散布しました。マグネシウムやカルシウムを含む苦土石灰は土づくりに欠かせませんが、多すぎると土のpHが上がり、リン酸や鉄分が吸収されにくくなると知りました。バランスの大切さを改めて感じます。

散布した苦土石灰をしっかりと混ぜ込み、耕土層に行き渡らせたあと、畑を眺めながら今年はどこにどんな野菜を植えようかと考える時間が増えました。畑の配置を思い描くこの瞬間は、春の訪れとともに私の楽しみのひとつになっています。(丁)

春には春の

JA全農長野です。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

